

- 本機は、専用のニッケル水素電池を使用しています。安全のため、専用電池以外は使用できません。新しい電池と交換するときは、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所、サービス部に相談ください。
- 電池には寿命があります。十分な充電ができなくなった、新しいものと交換してください。(使用状況により異なります。約3～5年を目安にしてください。)

各種設定

本体バッテリーカバー内のディップスイッチで、警報モード、ボイスアラームの日本語、英語の切り替え、監視モードのACC連動・非連動の設定ができます。

※工場出荷時全てOFF側			
1	2	3	
ドア開検出	音声+サイレン	サイレン	
2車外検出	警告音	音声+サイレン	
3音声切替	日本語	英語	
4監視モード	ACC連動	リモコン	

ドア開検出の警報設定

ドア開検出をサイレン側に切り替えると、ドアが開けられた場合、サイレンのみで警報します。

1 バッテリーカバーを開け、電池を取り出す

2 バッテリーケース内のディップスイッチNo.1(ドア開検出)をボールペンの先などで切り替える

※ドア開検出をサイレンに設定していても、車外検出を音声+サイレンに設定すると、異常感知時のすべての警告・警報は音声+サイレンになります。

車外検出の警報設定

車外検出を音声+サイレンに切り替えると、車輦への接近やウィンドウへの衝撃に対してもボイスアラームとサイレンによる警告・警報を行います。
※車輦への接近とウィンドウへの衝撃感知時の警報は個別に設定できません。

1 バッテリーケース内のディップスイッチNo.2(車外検出)をボールペンの先などで切り替える

ボイスアラームの音声切替

ボイスアラームを英語にすることが出来ます。

1 バッテリーケース内のディップスイッチNo.3(音声切替)をボールペンの先などで切り替える

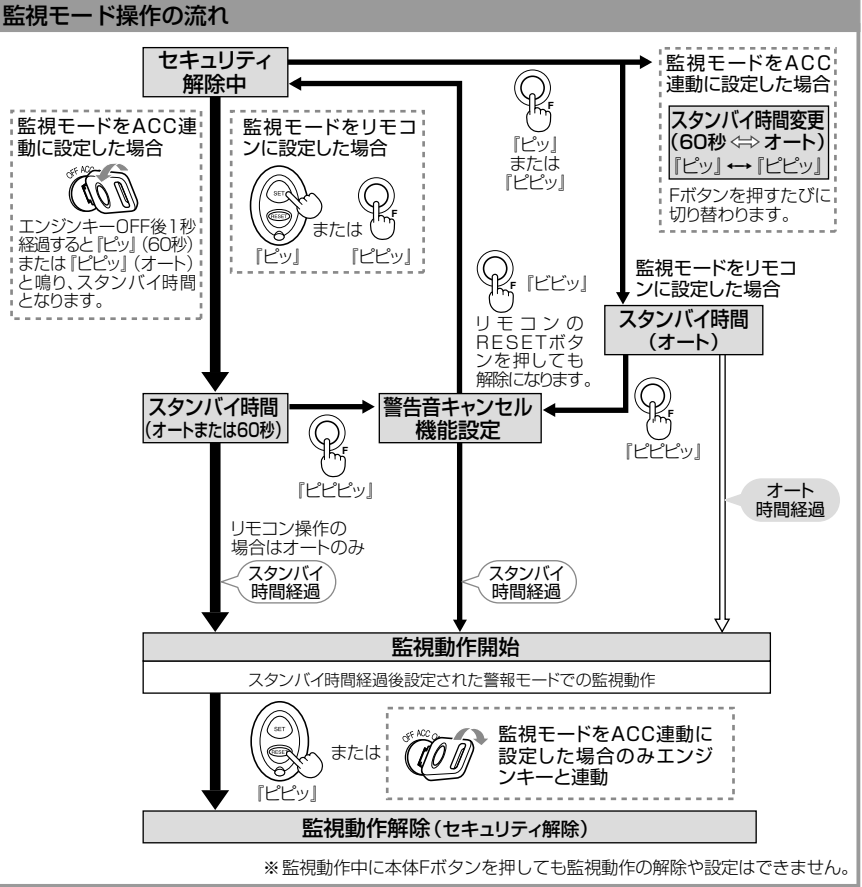
監視モードの設定

車輦のアクセサリ電源とセキュリティ設定の連動/非連動が選択できます。外国車などで常時シガーライターソケットに通電している車輦やエンジンキーとセキュリティ設定を連動したくない場合はリモコン側に設定してください。
常時アクセサリ電源が通電している車輦では、車輦のバッテリーが低下するまで連続監視を行いますので、2週間に1度程度は走行して車輦のバッテリーを充電してください。

1 バッテリーケース内のディップスイッチNo.4(監視モード)をボールペンの先などで切り替える

※ディップスイッチNo.4をリモコン側に切り替えるとリモコン操作および本体Fボタンでのセキュリティ設定となります。
なお、常時シガーライターソケットに通電している車輦にリモコン側に切り替えた本機を初めて接続する場合や、DCコードをつなぎ直した場合は、急速充電が開始され車輦のバッテリーに負担がかかります。このような場合は、接続後エンジンを始動するか、リモコンのRESETボタンを押すとバッテリーの負担を軽減できます。
※本機とエンジンスターターを併用する場合、監視モードをACC連動モードに設定してください。リモコンモードに設定してある場合、エンジンスターターのリモコンで、エンジンを始動すると車輦振動を感じて警告・警報を発することがあります。

2 コードを挟まないように注意して、バッテリーカバーを閉める



本体を取り付ける

付属のサンバイザークリップまたはマジックテープを使って、サンバイザーやダッシュボードに取り付けます。車輦によっては取り付け場所により、検出感度が変化することがあります。マイクロ波センサーの感度設定と合わせて取り付け場所(サンバイザーまたはダッシュボード)をお選びください。

サンバイザーに取り付ける

付属のサンバイザークリップを本体に取り付け、サンバイザーの車輦中央寄りに挟み込む

※サイドウィンドウ寄りに取り付けした場合、車輦の側面を均等に検出できないことがあります。

市販のストラップなどを利用して、サンバイザーアームに結び付けること(取りはずし防止)ができます。

ダッシュボードに取り付ける

付属のマジックテープを本体裏に貼り付ける

ダッシュボード中央付近の運転に差し支えない場所に貼り付ける

警告

運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に貼り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

注意

取り付けは、確実に行ってください。落ちたりすると、ケガの原因となります。

コードクリップの使いかた

付属のコードクリップセットで、電源コードがきれいに配線できます。
コードクリップを両面テープで貼り付けます。

※シガーコードがリモコンのアンテナになっていますので、束ねたりせずに配線してください。
●布などは避け、なるべく硬く、なめらかな場所を選び、接着面に触れないように貼り付けます。
●貼る場所のチリや汚れをよく落としたあと、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの粘着力を弱めます。

充電する

12V(マイナスアース)車専用です。DC12V以外では使用できません。

1 付属のシガープラグを、本機DC12Vジャックと車輦のシガーライターソケットに差し込む

シガープラグは、2〜3回左右にひねりながら差し込みます。

※シガープラグ、DCプラグは確実に接続してください。接触不良がある、走行中に警告・警報を発することがあります。

2 車輦のエンジンをかけて、充電する

エンジンをかけると、バッテリーインジケーターが点灯し充電を開始します。
本機は、シガーライターソケットに接続しておくことにより、車輦の走行中に(エンジンキーがACCまたはON)、充電しますので、常時シガーライターソケットに接続しておいてください。
※監視モードがリモコンに設定されている場合は、常に充電されています。監視解除中に本体に給電されている場合はバッテリーインジケーターが点滅(2秒に1回)して、充電中であることをお知らせします。監視中は給電されていてもバッテリーインジケータは点滅、点灯しません。
※シガーライターソケットがエンジンキーと連動して電源がON/OFFする車輦で監視モードをリモコンに設定していると、エンジン始動(エンジンキーをACCまたはONにすると)毎に急速充電を開始します。急速充電中は、車輦のバッテリーに負担がかかりますのでこのような設定をした場合は、セキュリティ解除後、エンジンを始動するか、再度、リモコンのRESETボタンを押すとバッテリーの負担を軽減できます。

※充電時間の目安
…電池の状態に応じて初期充電、急速充電、またはトリクル充電を行い、1〜2時間でフル充電されます。(1時間の充電により約1週間の連続監視(一連の警告・警報×2回を含む))ができます
…トリクル充電中は充電電流が小さくなり、本機バッテリーケース付近が熱くなりますが故障ではありません。

●シガープラグは、必ず付属のものをご使用ください。
●シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、新しいヒューズ(1A)と交換してください。シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意し、順序を合わせて入れてください。
●交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグを抜いてお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。
●本機を車輦のバッテリーなどに直接接続すると大変危険です。シガープラグ以外から電源を取り出す場合には、別売のOP-20と市販の平型ヒューズタイプ電源取り出しコードなどを利用して電源ラインに接続してください。

マイクロ波センサーの感度設定

感度切替スイッチを切り替えて、車輦の大きさや駐車環境にあわせてセンサー感度(検出エリア)を設定します。また、本機取り付け場所(サンバイザー、ダッシュボード)によってもセンサー感度が変わることがあります。

●感度設定の目安

- 高感度(H) 車輦周辺の物体に対して、警告・警報をしたいとき
- 通常感度(M) サイド・リアウィンドウ付近の物体に対して、警告・警報をしたいとき
- 低感度(L) ドア開や車内侵入に対してのみ警告・警報をしたいとき

※ミニバンやRV車などの大きな車輦では、下記3段階感度設定の動作イメージとは異なる場合や、接近を感知できない場合があります。

左記目安を参考に実際の動作を確認のうえ、感度設定を行ってください。Mに設定している場合でも、接近感知をする場合や、H設定でも接近感知ができないことがあります。このような場合は、感度切替スイッチの設定を変更するか、本機の取り付け場所を変更して、車輦の大きさや周囲の環境に合わせて設定を行ってください。

3段階感度設定(動作イメージ)

M…ウィンドウ付近

- ウィンドウへの衝撃、破壊等
- ウィンドウへの衝撃を感知したとき(車上接近など)…警告音「ピッ」が鳴り、警告ランプが1回点滅します。ボイスアラームとサイレンによる警告・警報を選択することもできます。(車輦への接近感知時もボイスアラームとサイレンによる警告・警報となります)
- 警告ランプは感知した物体の大きさや移動速度によっては点滅しないことがあります。

H…車の周囲

- 不審者の接近やうろつき
- RV車やミニバンなどの大きな車輦では、接近を感知できない場合があります。
- 車輦への接近を感知したとき…警告音「ピッ」が鳴り、警告ランプが1回点滅します。さらに、異常感知が7秒間続くと、サイレンによる警報となります。(警告音キャンセル機能が設定されている7秒間の異常感知があってもサイレンによる警報は行いません)
- 車輦への接近をボイスアラームとサイレンによる警告・警報に選択することもできます。(ウィンドウへの衝撃感知時もボイスアラームとサイレンによる警告・警報となります)
- 警告ランプは感知した物体の大きさや移動速度によっては点滅しないことがあります。

L…車内

- ドア開や不審者の車内侵入、車内での動き
- ドアが開くのを感知したとき(車上接近、車輦送還など)…ボイスアラームとサイレンを組み合わせた効果的な警告・警報、またはサイレンによる警報(約60秒間)を選択できます。
- ※車輦の大きさや周囲の環境により、上記動作イメージとは異なる場合があります。
- ※ボイスアラーム、サイレンによる警告・警報は数秒ごとに警告ランプが点滅します。
- ※車輦の前方には、機構上、接近感知が出来ません。ウィンドウへの衝撃は感知できます。

風や道路振動などにわずかな揺れ

- 周囲の警音
- 警告・警報はしません

セキュリティを設定する

1 すべてのウィンドウを、完全に閉める

2 エンジン进行、降車してドアを閉める

エンジンを切り(エンジンキーをOFFにする)、監視動作に入るまでに車輦から出て、ドアを閉めてください。監視モードがACC連動モードに設定されている場合、エンジンを切ることでビーブ音が鳴り、自動的にスタンバイ時間となり、スタンバイ時間経過後監視動作(みはりインジケーターが遅い点滅)になります。

※スタンバイ時間中さらにリモコンのSETボタンを押すとスタンバイ時間が60秒に設定されていても、オートに変更されます。

監視モードをリモコンに設定している場合、スタンバイ時間に入ったことを確認できる(みはりインジケーターまたはビーブ音の確認できる)範囲でリモコンのSETボタンを押してください。リモコン操作後、本体が「ピッ」と鳴り約10秒間のスタンバイ時間経過後(異常感知がない場合)に監視動作に入ります。

警告音キャンセル機能について

エンジンキーをOFF後、または、リモコンのSETボタン操作後スタンバイ時間中にFボタンを1回押すと「ビビビッ」と鳴り、警告音キャンセル機能に設定されます。再度Fボタンを押すと監視動作を解除します。
警告音キャンセル機能中は、車輦の周囲を人が歩く程度(通常の監視動作で「ピッ」と鳴る程度の異常)では、警告音を発しません。ドア開や車内侵入などの大きな異常では通常の警告・警報をしますので、スーパの駐車場など、人の出入りが多い場所に駐車するときなどにご利用ください。警告音キャンセル機能はACC ON、または、リモコンのRESETボタンを押すと解除されます。
※警告音キャンセル機能を設定している場合でも、感度の設定や車輦の通過など大きな動きを感じた場合は、警告・警報を行う場合があります。
※警告音キャンセル機能を押すとき、1回押し「ビビビッ」警告音キャンセル機能
2回押し「ビビビッ」セキュリティOFF
3回押し「ピッ」または「ビビビッ」通常監視準備

スタンバイ時間について

本機は、エンジンキーOFFまたはリモコンのSETボタンを押すと約1秒後にビーブ音が鳴り、スタンバイ時間となります。その後、一定時間(60秒またはオート)を経過すると、監視動作になります。
※スタンバイ時間をオートに設定すると、設定した直後から異常感知がない状態で約10秒間続くと監視動作に入ります。
※リモコン操作でセキュリティを設定した場合、スタンバイ時間はオートになります。

●監視動作に入らないようにするときは、スタンバイ時間中にFボタンを2回押すか、リモコンのRESETボタンを押してください。
●監視モードをリモコンに設定している場合は、車輦のエンジンキーとは連動しません。
●リモコンのSETボタンを押すとスタンバイ時間経過後(異常感知がない場合は10秒後)に監視動作に入ります。スタンバイ時間中にFボタンを押して警告音キャンセル機能の設定や監視動作の解除ができます。

スタンバイ時間の変更について (ACC連動モード設定時のみ有効)

スタンバイ時間を変更するときは、エンジンキーがONまたはACCのときにFボタンを押してください。
●スタンバイ時間は、Fボタンを押すたびに、図のように設定され、設定時間をビーブ音でお知らせします。
※監視モードをリモコンに設定している場合は、Fボタンを押すとセキュリティが設定され、スタンバイ時間の変更はできません。
●本機とターボイマーを併用する場合、スタンバイ時間をオートに設定すると、アフターアイドリング中の車輦振動を感じている場合でも、警告・警報を発することなく、アフターアイドリング終了後に監視動作になります。

監視動作

監視動作について

監視動作になると、みはりインジケーターが早い点滅から遅い点滅に変わります。監視中に車輦周辺の物体を感知した場合やドアが開いたときは、警告ランプが点滅し、ボイスアラームとサイレン(またはサイレンのみ)で警告・警報します。

エンジンキーの位置/リモコン操作	ACCまたはON/RESET	OFF/SET	
		スタンバイ時間	監視動作(スタバイ時間経後)
バッテリーインジケーター	点灯(充電モード)※監視モードをリモコンに設定している場合は点滅(1回/2秒間)	消灯	消灯
みはりインジケーター	消灯	早い点滅(0.6秒間隔)	遅い点滅(5秒間隔)

●監視中には、Fボタンを押しても監視動作を解除できません。

監視中に異常を感知すると

監視中に異常を感知したときには、次のような警告・警報を発します。

【車輦への接近を感知したとき】

車外検出を警告音に設定している場合	
警告音が「ピッ」と鳴り、警告ランプが1回点滅します。さらに、異常感知が7秒間続くと、サイレンによる警報となります。(警告音キャンセル機能が設定されていると、7秒間の異常感知があってもサイレンによる警報は行いません)	※警告ランプは、感知した物体の大きさや移動速度によっては点滅しないことがあります。
車外検出を音声+サイレンに設定している場合	
ボイスアラーム	「ビビビビビビ……(10回)」 「異常を検出しました。解除してください」 「異常を検出しました。解除してください」 「ビビビビビビ……ビビ[サイレン]、警告します、警告します」 「すぐに退去しなさい。不法侵入を通報します」
警報	「キューーン、キューーン……キューーン[サイレン]」(7回繰り返す)
ボイスアラーム	「すぐに退去しなさい。不法侵入を通報します」

※警告・警報中は、警告ランプが数秒間隔で点滅します。約60秒の警告・警報動作後、監視状態に戻ります。(ウィンドウへの衝撃感知時もボイスアラームとサイレンによる警告・警報となります)
※ボイスアラームはサイレンに比べ、音量が小さくなっています。

【ドア開や車内侵入を感知したとき】

(ドア開検出を音声+サイレンに設定しているときの日本語での警告・警報)
※車内での動きを感じた場合や、車輦周辺での大きな動きを感知した場合にも以下のような警告・警報となります。

ボイスアラーム	「ビビビビビビ……(10回)」 「異常を検出しました。解除してください」 「異常を検出しました。解除してください」 「ビビビビビビ……ビビ[サイレン]、警告します、警告します」 「すぐに退去しなさい。不法侵入を通報します」
警報	「キューーン、キューーン……キューーン[サイレン]」(7回繰り返す)
ボイスアラーム	「すぐに退去しなさい。不法侵入を通報します」

ドア開や車内侵入を感知すると警告音「ビビビビビビ……(10回)」が鳴り、ボイスアラームとサイレンによる警告・警報を行います。警告・警報中は、警告ランプが数秒間隔で点滅します。約60秒間の警告・警報後、監視動作に戻りますので、万が一車内侵入された場合でも、不審者の車内での動きを感じし、警告・警報を繰り返します。
※ボイスアラームはサイレンに比べ、音量が小さくなっています。

(ドア開検出をサイレンに設定しているときの警報)

ドア開検出をサイレンに設定しているときは、サイレンによる警報のみを60秒間行います。警告・警報中は、警告ランプが数秒間隔で点滅します。警報後は監視動作に戻りますので、万が一車内侵入された場合でも、不審者の車内での動きを感じし、警報を繰り返します。
※車外検出を音声+サイレンに設定していると、異常感知時のすべての警告・警報は音声+サイレンになります。
●強い雨や雪、雹(ヒョウ)などを感知して警報発する場合もあります。
●連続して異常を感じた場合や、ドア開や車内侵入を感知したときは、警報終了後に履歴として記録されます。この履歴は、リモコン操作でのセキュリティ解除時とエンジンキーをACC(またはON)にすると「ピーピーピーピーピー」と鳴らした後、リセットされます。
※異常検出の履歴をお知らせする機能で、「ピー」音の回数は異常感知の回数ではありません。
●接近を感知した後、ドアが開けられた場合などは、先に感知した警告・警報途中であっても、ドア開や車内侵入などの大きな異常を優先します。

セキュリティを解除する

車輦に近づきリモコンのRESETボタンを押す

リモコンからの信号を受信すると、本体が「ビビビッ」と鳴りセキュリティが解除されます。監視モードをACC連動に設定している場合で、リモコンでの解除を行わない場合は、ドアを開け、すぐにエンジンをかける。
エンジンをかける(エンジンキーをACCまたはONにする)とセキュリティが解除されます。
※監視モードをリモコンに設定している場合は、リモコンのRESETボタン操作以外で、セキュリティを解除することはできません。

ローバッテリーアラームについて

監視中に電池の容量が低下したときは、監視動作を停止します。ローバッテリーアラームによって監視動作を停止した場合は、停止直後のエンジン始動時に(エンジンキーをACCまたはONにすると)バッテリーインジケーターが点滅(約10秒間)してアラーム音(「ビビビッ、ビビビッ、ビビビッ」)が鳴ってから、ボイスアラーム(日本語「電池の容量がありません」または英語「Battery needs charging」)で知らされます。
※常時シガーライターソケットに通電している車輦では監視中に充電を行っているのでローバッテリーアラームは発火しません。ただし、本機内蔵のニッケル水素電池の寿命時にローバッテリーアラームが発生する場合があります。

●電池が完全に消耗したときには、バッテリーインジケーターやボイスアラームが動作しません。また、エンジンをかけた(エンジンキーをACCまたはON)ときにローバッテリーアラームが鳴るのは充電不足です。このような場合には、使用する前に、1時間以上充電してください。

メモ：十分に充電をしているにもかかわらず、エンジンをかけるたびにローバッテリーアラームが鳴る場合は、監視中の警報が多く、電池の消耗が激しいまたは電池の寿命が考えられます。

●電池には寿命があります。充電が十分でなくなったら、新しいものと交換してください。(使用状況にもよりますが、約3〜5年を目安にしてください)
交換については、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

仕様

<本体>		<リモコン>	
電源電圧	：DC12V(シガープラグ入力電圧)	動作温度範囲	：-20℃～+70℃
使用電池	：DC3.6V(ニッケル水素電池)	本体外形寸法	：80(W)×33(H)×101.5(D)mm(突起部を除く)
発振周波数/出力	：24.15GHz/10mW以下(技術基準適合品)	本体重量	：134g(ニッケル水素電池、サンバイザークリップを含む)
消費電流	：監視中…1.1mA(標準)		
	警報中…1.2mA(最大)	使用電池	：CR1616(1個)
	警報中…430mA(標準)	電池寿命	：約2年(1日10回使用)
	500mA(最大)	動作温度範囲	：-10℃～+50℃
充電中	：急速充電400mA(最大)	初期充電	：36.7(W)×13(H)×50(D)トリクル充電 5mA
	初期充電 80mA	外形寸法	：36.7(W)×13(H)×50(D)
警報音圧	：110dB/15cm(サイレン)	リモコン重量	：11.5g
	70dB/15cm以上(ボイスアラーム)		※仕様や外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部(添付の一覧表をご参照願います)にご相談ください。

症状	チェック項目
充電しない	●シガープラグが外れていませんか。 ●車輦のヒューズがACCまたはONの位置になっていませんか。 ●シガーライターソケットが正常に動きますか。シガーライターで確認してください。 ●シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良を起こしていませんか。シガープラグを2〜3回左右にひねりながら差し込み直してください。 ●シガープラグ内部のヒューズが切れていませんか。切れていた場合は、新しいヒューズと交換してください。
セキュリティが設定されない	●本体電池の容量が低下していませんか。充電をしてください。 ●電池のコンタクトが汚れていませんか。バッテリーカバーを開け、確認してください。 ●リモコンの電池容量が低下していませんか。リモコン電池を交換してください。 ●車輦のエンジンキーのON/OFFと連動してシガーライターソケットの電源がON/OFFしますか。シガーライターソケットの電源が、エンジンの始動/停止と連動してON/OFFしない車輦があります。このような車輦では、エンジンを止めても、シガーライターソケットに電源が供給され続けるので、監視モードがACC連動に設定されているとセキュリティが設定されません。(シガープラグを抜くと設定できます)このような車輦に取り付ける場合は、監視モードをリモコンに設定して、リモコン操作でセキュリティの設定/解除を行ってください。 ●監視動作に入るまでの時間(スタンバイ時間)が経過してしまっても、本機はエンジンキーをOFFまたはリモコンのSETボタンを押すと約1秒後にスタンバイ時間となり、その後、一定時間(60秒またはオート)が選択、リモコン操作の場合はオート)を経過しないと、セキュリティが設定されません。また、オートの場合は10秒間以上の異常感知が無い状態で経たない場合に監視動作に入ります。
警告・警報しない	●電池の容量が低下していませんか。充電をしてください。 ●エンジンキーがOFFの位置になっていませんか。

アフターサービスについて

1.保証書(本書)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

2.保証期間

お買い上げの日から1年間

3.対象部分

機器本体(消耗部品を除く)

4.修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。
●保証期間中のとき
保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただく。

●ユビTELご相談窓口一覧

お客様ご相談センター TEL. (0564)45-6515

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北1条1丁目35-100 エアリアル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2番倉ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野・新潟・静岡(西部の一部地区を除く)	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・静岡(西部の一部地区)	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)461-1281 〒453-0053 愛知県名古屋市中村区中村町6-5
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご注意ください。
●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。